

大学等名：新潟工科大学

テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

- ・ポートフォリオを基軸とした①ルーブリック、②到達度テスト、③企業との対話による評価により、学修成果の可視化を行う。
- ・可視化によって「学修目標・計画⇒学修⇒学修成果の可視化⇒きめ細かい学生指導⇒学修計画の改善」という学生の学びと、「3つのポリシーを基本とした教育目標・計画（シラバス）⇒教育⇒学修成果の可視化⇒FD⇒内部と産業界等からの外部評価⇒教育計画・教育方法の改善」という教学マネジメントの2つの改善ループを構築する。



	26年度 (実施率)	28年度 (実施率)	31年度 (目標値)
ラーニングポートフォリオの学生利用率	0%	100%	100%
ルーブリックで評価を実施した科目 (ゼミ・実験科目のうち)	0%	100%	100%
学修行動調査の実施率	88.1%	84.8%	100%
学修到達度調査の実施率	0%	100%	100%

・厳正な成績評価と学修成果が明確となり、客観的な学生指導及び学生個々の到達度の伸長を図ることが容易となる。

・学修成果の可視化を基軸とした「学生の学びのループ」「教学マネジメント改善のループ」の構築を図ることにより、教育改革を進め、産業界や地域が求める人材を育成する。